

研究課題 (テーマ)		富山県内企業とロボット関連企業をまとめてリサーチ － ものづくり展示会を活用したキャリア形成 －	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	知能ロボット工学科	教授	高木 昇
	知能ロボット工学科	教授	神谷和秀
研究結果の概要			
<p>知能ロボット工学科の低学年（主に学部2年生）の学生に対して、富山県内企業の認知度を高め、これを富山県機電工業会と連携して実施している「知能デザイン工学特別講義2（選択科目・学部3年生対象）」の受講増につなげ、富山県内定着率の向上を目指した。また、本年度より学科名称に「ロボット」を冠することになったことから、ロボットに関連する企業に注目をさせて、学習意欲を高め、キャリア形成について考えさせることを目指した。</p> <p>そのために、企業を個別に訪問する一般的な企業見学ではなく、多数の企業が集まる展示会に学生を引率することで、県内企業の情報を十分に持っていない低学年の学生に、効率良く企業情報を提供し、優良企業が富山県に多数存在することを気づかせるような指導を行った。その結果、以下の成果を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 多数の企業が集まる展示会として、石川県産業展示館で開催された MEX 金沢 2018 と e-messe kanazawa 2018, および、東京ビックサイトで開催された JIMTOF2018 に学生を引率することができた。 ✓ 展示会に参加する学生には、事前に Web サイトなどを利用して、出展企業の情報を調査するように指導し、目的をもって展示会に参加させることができた。調査対象として、ロボット関連企業についても注目するように事前指導を行うことで、知能ロボット工学科の基礎および専門分野を学ぶ意欲を高めることができた。 ✓ 学生を遠方の展示会に引率する場合には、移動のバスの中で、富山県が制作した企業紹介映像「世界・全国に誇る富山県企業」を視聴させ、移動時間も無駄にせず、富山県内企業を知る機会として有効に活用することができた。 ✓ 展示会では、学生に「2018年4月知能デザイン工学科は知能ロボット工学科になります。」と印刷したバックと名刺を持たせ、学生自身に知能ロボット工学科の PR 活動を行わせることで知能ロボット工学科の学生であることを自覚させることができた。 			
今後の展開			
<p>次年度も展示会を活用したキャリア形成に関する取り組みを行うことで学生の学習意欲を高め、「知能デザイン工学特別講義2」の受講者増につなげ、富山県内定着率の向上を目指す。また、知能ロボット工学科の学生のキャリア形成に資する展示会として、ロボットをメインにした展示会の開拓を行う。</p>			